学校番号	１０６

平成 31 年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	高校生の美術３（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇創ろうとする作品の独創的な主題を生成し個性を生かし創造的な表現を行う「絵画・彫刻」と、創ろうとする作品のデザイン効果を考えて主題を生成し表現を行う「デザイン」と、お互いの作品を批評し合う活動を含む「鑑賞」の分野を学習します。
〇限られた条件の中での表現方法の応用と、二次利用についてのデザインを心がける。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して，美的体験を豊かにし，生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに，感性と美意識を磨き，個性豊かな美術の能力を高める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法に関心をもち、美術文化を尊重し、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、独創的な主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や国際理解に果たす美術の役割、美術文化などの理解を一層深め、自己の価値観や美意識を働かせて、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	「美術Ⅲ」の学習内容について	[鑑賞] ・オリエンテーション 教科書の作品を鑑賞し、美術Ⅲの授業内容を認識する。	◎			◎	a: 2 年次の学習を踏まえ、更に深めて行く学習の意欲を高めている。 d:作者の主張、作品と時代や社会とのかかわりなどを考察し、自己の価値観や美意識を働かせて作品を読み取り味わっている。	学習活動の様子
	「デザイン・ポスター」情報の視覚化	[デザイン] ・B1 の大きさで、テーマを自由に設定し、グラフやイラストを用いてポスターデザインする。 ・情報を整理し、形や色を効果的に用いて表し方を工夫する。 [鑑賞] ・作品を発表し、相互に鑑賞し、鑑賞文を発表する。	◎ ◎ ◎	◎ ◎	○ ◎	◎	a:大きな作品に意欲を持って取り組んでいる。 b:数値のみで表されているような統計資料をもとに、主題を生成し、表現の構想を練っている。 c:主題に合った表現方法をもとに、形や色を効果的に工夫している。 d: 他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫、などを感じ取っている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート
2学期	「私の好きな場所」風景画	[美術] ・校内の自身の好きな場所の風景を描写する。 ・透明水彩絵の具の特性を理解し自身の情景と合わせ表現する。 ・出来上がった作品を鑑賞し良さを確認し、次につなげるための考察を行う。	◎ ◎ ◎	◎ ◎	○ ◎	○ ◎	a: 自身の描きたい感情を素直に表現しようとしている。 b:主題に合わせ効果的に構図を考えることができる。 c:季節を感じ水彩絵の具の特性を利用し自分なりに工夫して表現できている。 d: 他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫、などを感じ取っている。	スケッチ 制作の様子 作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート

	オリジナルロゴデザイン	[デザイン] ・自分の名前などからイメージしロゴデザインを考える。 ・不透明水彩を使って色彩計画をし、二次利用も想定したものを考える。 ・制作意図について発表し、意見交換等行う。	◎ ◎	◎	◎	○ ◎	a:自分の名前などから自由にイメージし、文字やイラストを効果的に使ったものを考えようとしている。 b:文字やイラストについてデフォルメを加えるなど表現についての効果について考えることができる。 c:色彩についての理解や美しく塗るための技法について学ぶことができる。 d:制作意図について伝え理解しあうことで作品についての価値について考えることができる。	ワークシート 取組み状況 制作の様子 作品 鑑賞ワークシート
	シルクスクリーンでオリジナルノート作り	[美術][デザイン] ・ロゴデザインを二次利用する ・版画の特性について知り、シルクスクリーンの版を作る。 ・版をもとに複数冊のノートに印刷する。 ・できた作品について相互で批評する。	◎	◎	◎	○	a:シルクスクリーンの版画技法を利用しノート作りに意欲的に取り組んでいる。 b:色彩について様々なパターンを考え、版画の複数生産について理解している。 c:刷りの技術について経験し習得する。 d:出来上がった作品の良さについて批評し合い今後の制作に活かすことができる。	ワークシート 取組み状況 制作の様子 作品 鑑賞発表
3学期	「展覧会」をテーマに考える	[デザイン][鑑賞] ・一人の作家を取り上げ、展覧会を企画しポートフォリオにまとめる。 ・作家の作品について調べ、その魅力について他者に伝えることができる。	◎ ◎	○ ○	○ ○	○ ◎	a:作家について調べ自分なりに作品の魅力について他者に伝えることができる。 b:ポートフォリオにまとめる中でデザイン効果や表現の構想を練っている。 c: 主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして創造的なデザインや表現を追及している。 d:他の作家の魅力について発見し視野を広げることができる。	ワークシート 取組み状況 制作の様子 制作途中の作品 発表 発表ワークシート

※　表中の観点について　a…美術への関心・意欲・態度　　b…発想や構想の能力
c…創造的な技能　　d…鑑賞の能力

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について◎を付け、重点的に評価を行う観点には○を付けている。